

2022年 月 日

兵庫県2023年度予算編成にむけての要請署名

兵庫県知事 齋藤元彦様

要請団体 **兵庫県福祉4団体**
要請者代表 柳田 洋
団体住所 〒650-0016 神戸市中央区橋通3-3-9
全国福祉保育労働組合兵庫地方本部気付
☎ (078) 341-4170

要請趣旨

日頃から、兵庫県下の福祉の充実に努力して頂いていることに敬意を表します。
この3年間の絶え間なく進化し続ける新型コロナウイルス感染と諸物価高騰のもとで、子ども・障害者・高齢者の福祉の分野においては、緊急の解決すべき課題が浮き彫りになっています。
日本国憲法25条で定められた国の責任においてすすめられるべき福祉施策が、新自由主義の政策によって、民間移管や規制緩和が進められ、さらに「自己責任」を基本に「自助・互助・共助そして公助」の考え方が強められてきています。
コロナ禍は、こうした施策では、子ども・障害者・高齢者・そこで働く人達のいのちも健康も守ることができないことを明らかにしました。職員の感染は、心身共に疲労困憊の状況をうみだし、重大事故の原因にもなりかねません。利用者の感染は、利用者と家族の生活を守ることが困難になり、同時に、事業所が多額の報酬減となり事業そのものの継続さえ難しくなっています。また、職員確保が一層困難になってきています。
今こそ、「国・自治体」の公的責任で対応し、福祉が、心身共に、充分なゆとりを持って、心を通わせられる保育や介助・介護にあたる職員配置基準の改善、賃上げなどの処遇改善や環境整備に着手すべき時です。
この間、私たち、福祉4分野(保育所・障害児者施設・学童保育・高齢者介護)で働き生活するものは、感染の不安のもとでも努力してきましたが、自助努力では限界です。私たちの切実な願いを下記の要請項目に示しました。真摯に受け止め、福祉で働く喜びが感じられる職場の実現に努力していただくことを切にお願い致します。

兵庫県福祉4団体は次の4団体で構成しています。

- 兵庫障害者連絡協議会
- 兵庫県保育所運動連絡会
- 兵庫県学童保育連絡協議会
- 全国福祉保育労働組合兵庫地方本部

子どものための予算を大幅に増やし、保育士の増員など、 保育・学童保育制度の抜本的改善を求める請願書

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

年 月 日

紹介議員 _____

請願代表者氏名 _____

外 名

請願趣旨

保育・学童保育は、だれもが安心して子どもを産み育て働ける社会の実現にとって不可欠な社会資源であり、子どもたちの日々の暮らしと、成長発達を保障するための大切な施設です。コロナ禍によって、その重要性は広く社会的に認識されてきました。
政府は、2023年度から「こども家庭庁」を創設し、社会の真ん中に子ども関連施策をすえて、その充実・推進を図るとし、予算を倍増すると公言しています。それならば、いまこそ保育予算を大幅に増額し、遅れている保育所等の環境・条件の抜本的改善に踏み出すべきです。
この間政府は、保育士等の賃金について不十分ながら改善を進めていますが、保育士の増員を求める現場の声には、背を向けたままです。小学校では、40年ぶりに基準が改善され、全学年で35人を上限とする少人数学級が実現します。ところが、保育所の保育士配置基準は、久しく改善がなく、4・5歳児の基準(子ども30人に保育士1人)に至っては1948年の基準制定以降70年以上一度も改善されておらず、国際的にも低水準のまま放置されています。とりわけ、コロナ対応によりひっ迫した保育現場の状況を踏まえれば、改善は待ったなしです。
少子化が加速し、地域によっては保育所の定員割れがおきており、公・私の保育施設の統廃合が取りざたされるようになってきました。しかし、依然として待機児童問題が深刻な地域があります。また、待機児童がいないといわれる地域でも、保育を必要とするすべての子どもが、安全・安心で質の高い保育を格差なく受けられる状況ではありません。子どもの生活と発達する権利を保障するために、予算を増やし、すべての地域で、保育・学童保育を維持し、さらに拡充させるべきです。
以上のことから、保育士の増員をはじめ、保育・学童保育の基準・施策の抜本的な改善を求め、以下について請願します。

よりよい保育を！実行委員会

(連絡先) 全国保育団体連絡会
☎162-0837 東京都新宿区納戸町26-3 保育プラザ
☎03-6265-3171

<取扱団体> 兵庫県福祉4団体

〒650-0016 神戸市中央区橋通3-3-9
全国福祉保育労働組合兵庫地方本部気付
☎078-341-4170